

子どもたちの基本的な生活習慣と学力の関係

文部科学省が平成15年度に小学5年生から中学3年生の合計45万人を対象に実施した「教育課程実施状況調査」で、家庭での基本的な生活習慣と学力の関係を調査している。それによると、従来からいわれていたように、生活習慣と学力には深い関係があることが改めて確認された。

そして、文部科学省は今年度から、小学校を対象にして『早寝早起き、朝ごはん』の取り組みを始めた。

●朝食と学力テストの関係

最近、児童生徒の学力低下が話題になっているが、この調査では学校に行く前に朝食をとっているかどうかと学力テストの関係について調べている。

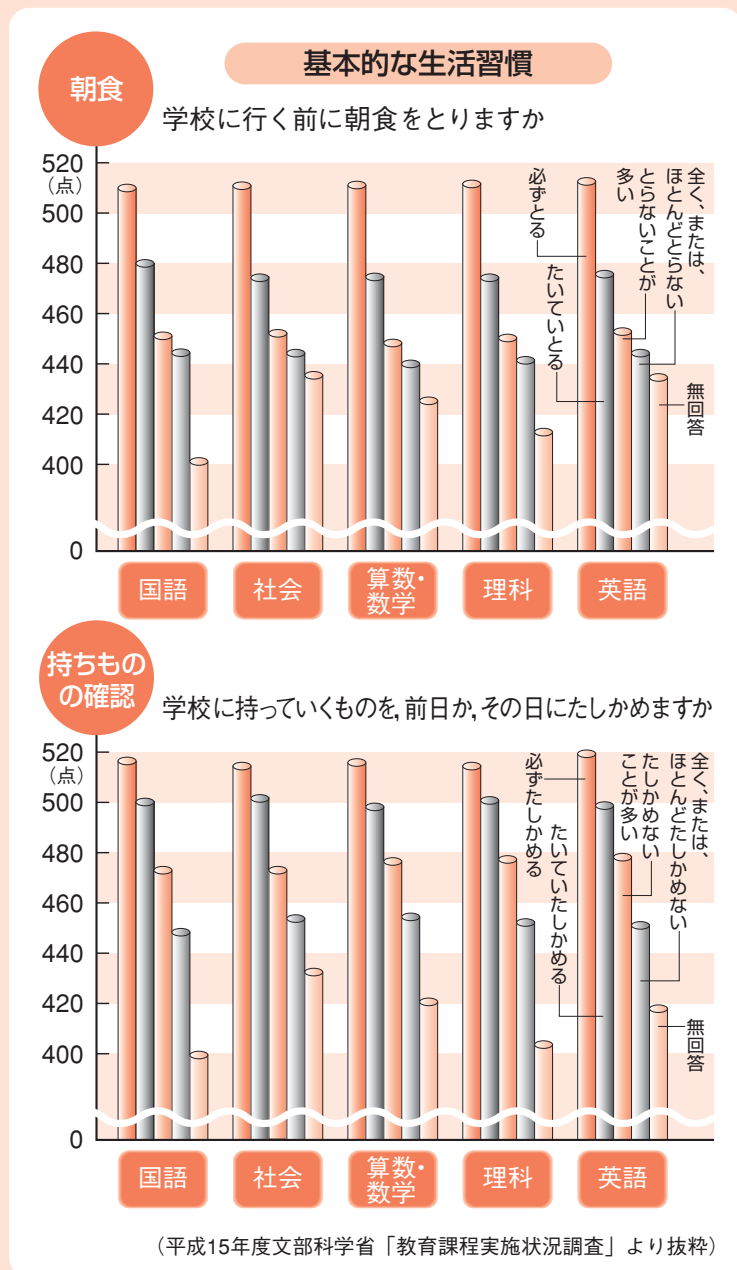
調査によると、毎日必ず朝食をとる児童生徒は国語、社会、算数(数学)、理科、英語のすべての教科で平均点を上回っている。

そして、朝食を「必ずとる」「たいていとる」「とらないことが多い」「全く、または、ほとんどとらない」の順にテストの平均点も下がる傾向がみられた。

●学校に持っていくものの確認と学力テストの関係

学校に持っていくものを前日かその日にたしかめる子どもと学力テストについても興味深い関係がみられる。

学校にもっていくものを「必ずたしかめる」児童生徒は国語、社会、算数(数学)、理科、英語のすべての教科で「たしかめない」児童生徒より学力テストの平均点が上回っていた。



きょういく eye

きょういくアイ

— Information for Boards of Education —



巻頭言

英語教育の新しいかぜ

根本アリソン

日本の小学校の教室から新しい、元気な声が聞こえるようになりました。“Are you ready?”『準備はいいですか』『Let's try!』『やってみよう。』

平成14年からスタートした英語活動を現在では8割の公立小学校で実施しています。母国語に近い自然な教え方で体験や遊びながら英語を身につけることができるようになりました。

私も5年前から福島県大熊町の小学校で英語を教えています。日本に来て18年間、中学校や専門学校での経験もありますが、今が一番充実した時間です。

“Good morning, Alison!” “How are you?” 朝、廊下を通ると子どもたちからの元気なあいさつで私の一日が始まります。毎日、1年生から6年生まで、年間500時間以上の授業をしています。

現在、英語活動のカリキュラム、時数、教授方法などは、文部科学省で指定されていないため、自由にそれぞれのクラスの子どものニーズに合わせて、適した活動内容を考えなければなりません。先生方の負担に

●根本アリソン●
イギリス生まれ、1989年にイギリスの小学校教員資格取得。1989年8月に福島県原町市教育委員会のA.E.T.として来日し、市内の中学校で3年間英語指導を行う。その後、小高町教育委員会の国際交流指導委員として、幼稚園や小学校での英語活動などに約2年間従事。その後、福島県立テクノカレッジ浜の英語講師などを終り、1998年から大熊町教育委員会の英語指導助手として小学校での英語活動を3年間、中学校で4年間かわり、現在にいたる。また、2004年7月から福島県立教育センターの小学校英語活動指導者講座で先生がたを指導中。趣味はスキー、水泳、生け花。



もなっていますが、大変に良い「手作り英語教育」が始まっています。

私たちのオリジナルカリキュラムでは歌、ゲーム、英会話のほかに、低学年にはたくさんの英語の絵本を読み聞かせ、図工的活動、体操やダンスも取り入れています。中学年では作って遊ぶ、お店ごっこや、お祭り体験。高学年では遊びながら覚える文字指導や大熊町の姉妹都市であるオーストラリアのパース市のグループや交換留学生との交流時間もあります。

子どもは自分から英語で話しかけ、楽しそうに会話するとダイレクトな喜びを感じるようになりました。

英語活動を必ずポジティブな経験にするには、良い雰囲気作りとともに「完璧な答え」より「やってみる」気持ち、「自分の英語が通じたという満足感」がなによりも大切です。そうすれば、子どもたちは生き生きと、積極的に英語を口にし、授業という枠を越えて英語があふれ、児童が自ら英語を使ってみたいと思い、自然に英語学習に取り組むようになります。

目次

英語教育の新しいかぜ 根本アリソン	1
教員の「社会性や対人関係能力」向上をめざして 寺田光世	2,3
子どもたちの基本的な生活習慣と学力の関係	4



Vol.1-03(通巻3号)
定価100円(本体95円)
送料80円

平成18年11月20日印刷 平成18年12月1日発行 編集人 山岸 忠雄
発行所/開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1
03 (5684) 6121 [営業]、03 (5684) 6118 [販売]/振替00130-8-75296
印刷所/バシフィック・ウイステリア 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-31-1 ニュービクトリアビル5F



開隆堂出版株式会社

〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎03(5684) 6111

北海道支社 〒060-0061 札幌市中央区南一条西6丁目11番地 札幌北ビル6階 ☎011-231-0403
東北支社 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-11-1萩野町Mビル2階 ☎022-782-8511
名古屋支社 〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町14-4星ヶ丘プラザビル6階 ☎052-789-1741
大阪支社 〒550-0013 大阪市西区新町2-10-16 ☎06-6531-5782
九州支社 〒810-0075 福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 ☎092-733-0174

教員の「社会性や対人関係能力」向上をめざして

寺田光世 (京都教育大学学長)

1 いとぐち

凡そ教員とは、これを職業にするものであれ職業外にするものであれ、社会性や対人関係を仕事の中心に据えるものです。したがって教員であるかぎり「社会性や対人関係能力」は必須的に求められる重要な基本的資質能力であるといえるわけです。教員に必要な「社会性や対人関係能力」の資質能力をどのように捉えればよいかについて考えてみましょう。

2 試験に合格しやすいタイプ

私が某国立大学医学部の教授と雑談しているときのことでした。「教員養成系大学の学生であるにも拘わらず、最近は教員採用試験の合格率が芳しくなく困っています。のんびりしていて教採の受験勉強に真剣さが足りないのではないかと心配しています」と私が切り出すと、教授は次のように言われた。「医学生にはご承知のとおり国家試験があります。どのような学生がストレートに合格しているかについて長年眺めてきたが、どうも一つの傾向があるように感じます。「本の虫」のように参考書に齧り付いて勉強するという閉じこもりがちなり勉タイプよりも、ほとんど毎日のように大学に来て友達仲間とワイワイ言いながら遊んで(?)いるようなタイプの学生がよく合格する傾向にある。統計的に調べた訳ではないが、どうも二つのタイプに差があるように感じます」。試験合格率にそのようなタイプ差があるとすれば、それはワイワイタイプの学生は、参考書による勉強もさることながら、気ままな雑談を通して友達仲間からもたらされる「自分では気付かなかった知識」や「他者の考え」などを情報として多く得ることができ、結果として一般常識や専門的知識など現代社会が求めるもの、つまり「生きてはたらく知識」、言い換えると試験で問われるであろう重要ポイントを身につけることができたのではないか。一方、ガリ勉タイプにおいては体系的、系統的に知識を身に付けることができるとしても、現

代社会の「今」において何がどのように問題になっているかというような「生きた情報」が得難いという相違があるのではないかと推測されるわけです。

3 学校という教育現場

学校という公教育を司る現場にもガリ勉タイプとワイワイタイプの教員がいるようですが、現職の先生方の印象として、今日では職員室の雰囲気はひと昔前と比べて随分変化したようであり、ワイワイできない雰囲気があるようです。たとえば、「従前の学校ならば、ほんの些細な短い時間を利用したストーブを囲んだ世間話などで気が和まされたり、また職員室自体にもっと会話や活気があり、生徒を巡る厳しい現実がありつつも、ホッと癒される空間であったように思う。それに比べ、現在の学校はというと、職員間における会話等はほとんどなく、ただ日々の授業や生徒指導・保護者の対応等に追われているだけといった感がある」とO中学のA先生は指摘します。

また、児童数約千人というマンモスU小学校に勤めるS先生の話では「若手(教師)のクラスだけでなく、近年ベテラン教師のクラスも崩壊してしまうことがしばしばあると聞く。(中略)大変忙しい学校や大きな学校では、誰かに相談しようにも意外と相談できずに、担任だけで悩み、気付いたときにはどうしようもないことが起こっても当たり前である。そういう意味でも、ざっくばらんに話し合える関係や機会を作り、まじめな雑談ができないものかといつも考えている。」といえます(以上、京都教育大学の「学校経営改善集録第1集」・2006年から)。

一方、新任教員にはそれなりの深刻な悩みがあります。たとえば、「子どものばらばらな言動に振り回され、呑込まれ、おどおどして、ひとり一人に気を取られて授業が成立しない」「視野が狭く、暗い性格で、子どもを引き付けられない」「優しすぎて、しゃべりづめの授業で子どもの心を引き付けられない」「子どもの目線に立つことができない」「クラス全体に目をむけることができない」などです。この

ような新人教員の傍らに気楽に相談できる先輩教員がいなければ、常に大きなストレスに曝されることになり、やがて自信を失って健康まで阻害されることとなります。

4 教師に求められる「社会性や対人関係」

中央教育審議会が平成18年7月に答申した「今後の教員養成・免許制度の在り方について(答申)(案)」の中には、学部段階における必修科目として「教職実践演習」の新設を提言し、この履修により、最少限必要な資質能力として、①使命感や責任感、教育的愛情、②社会性や対人関係、③幼児児童生徒理解や学級経営、④教科・保育内容等の指導力、の4事項を掲げています。このうち、特に②の履修における「目標到達の確認指標例」として、次の4点を提示しています。

- 挨拶や服装、言葉遣い、他の教員への対応、保護者に対する接し方など、社会人としての基本が身に付いているか。
 - 他の教職員の意見やアドバイスを耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、自らの職務を遂行することができるか。
 - 学校組織の一員として、独善的にならず、協調性や柔軟性を持って、校務の運営に当たることができるか。
 - 保護者や地域の関係者の意見・要望に耳を傾けるとともに、連携・協力しながら、課題に対処することができるか。
- いずれも高度な能力を要求しているものではなく、比較的一般的または常識的コミュニケーション能力の確実な涵養を求めているわけです。

5 むすび

既に述べたように他者との良好なコミュニケーションを密に保つことは重要なことですが、この場合、教員に関して言えば、最も基本と思われる次の3点をクリアしていなければなりません。

第1に、プロとして公教育に携わる教員は、教育



活動に「公と私」の区別をつけ、常に公教育に携わるものとして他者との良好なコミュニケーションを堅持する必要があります。たとえば、武田鉄也作詞の「母に捧げるバラード」という詩があり、その中に「なまじ腰ば降ろして休もうなんて絶対思うたらつまらんど。死ぬ気で働いてみる、テツヤ。人間働いて、働いて、働き抜いて、もう遊びたいとか、休みたいとか思うたら、一度でも思うたら、はよ死ぬ。それが人間ぞ。それが男ぞ。」という台詞があります。彼にとって母が発したこの言葉は人生を変えるほどの大きな影響をもつ言葉だったのであり、この親子関係において有効に作用したと考えられます。しかし、公教育を司る教員が児童生徒に同じ言葉を用いわけにはいかないことは、説明するまでもなく、読者の方々にはお分かりでしょう。

第2に、教員は相手が児童生徒であれ、教職員であれ、保護者であれ、常に「集団」を掌握する資質能力を身に付ける必要があります。たとえば、新人教員が担任するクラスにおいて、ときには集団より個人に気を取られてしまうために、クラス全体を把握できなくなることが起こりますが、教員は「集団」という相手を扱うプロであることを自覚し、集団を相手にする技術技能を身に付けておきましょう。これは社会性や対人関係能力の一つであるように思われます。

第3に、教員は個人にフィットできる社会性や対人関係能力を構築する力を身に付ける必要があります。これは前項で述べたことと表裏の関係にあります。すなわち、集団を扱うことに気をとられるあまり、個人の個性や願いや状況を無視してしまうことがよくあります。教員の仕事は結局のところ児童生徒のひとり一人の力を伸ばすという大きな目標があることを自覚しておきましょう。